

ストップ「改憲手続き法案」



国会前で全国から上京してきた参加者が「強行採決は許さない」と抗議の声

徹底審議を行え!! 2007春闘第2次中央行動



中央行動では、労働基本権・民主的公務員制度の確立をもとめる決起集会もひらかれました



衆議院議員会館前では連日、座りこみの人たちが200メートルも

自民党・公明党の与党は、4月13日、国民の「拙速をやめ徹底審議を」の声を踏みにじって、「改憲手続き法案」(国民投票法案)の採決を強行し、衆議院を通過させました。徹底審議をもとめて暴挙を糾弾する声広がっています。参議院での廃案をめざして引き続きとりくみを強めましょう。

4月12日に首都・東京で行われた2007春闘第2次中央行動では、こうした「改憲手続き法案」の強行採決を許さない「国会前座り込み」「国会議員要請」「国会審議傍聴」などとともに、公務労組連絡会「労働基本権確立・民主的公務員制度の確立をもとめる決起集会」もひらかれました。



京橋駅前での宣伝行動では署名する市民も(4月10日)

日時だよ! 全員集合

2007年4月~5月の
主な行事・とりくみ

- 4月22日(日) 統一地方選挙投票日(一般市町村長・議員)
- 4月28日(土) 国鉄闘争早期解決・安全輸送をめざすシンポジウム(リバーサイドホテル)
- 4月30日(月) 東大阪市職労結成40周年記念式典(ベルクラシック大阪)
- 5月1日(火) 第78回大阪地方メーデー(扇町公園)
- 5月3日(木) 「憲法公布60周年のつどい」(大阪国際交流センター)
- 5月9日(水) 第55回大阪自治労連中央委員会(大阪グリーン会館)
- 5月9日(水) 「9の日」宣伝行動
- 5月10日(木)~11日(金) 第35回自治労連中央委員会(静岡市)
- 5月11日(金)~12日(土) 公営企業評議会水問題研究交流集会
- 5月12日(土)~13日(日) 自治労連現業評議会全国交流集会(大津市)
- 5月13日(日) 映画「日本の青空」完成試写会(豊中市民会館午後6時30分)
- 5月24日(木) 春の大阪争議総行動
- 5月25日(金)~26日(土) 都道府県職交流集会(福岡県柳川市)
- 5月26日(土)~27日(日) 公務労働者安全衛生・職業病交流集会(高知市)
- 5月29日(火) 大阪自治労連弁護団総会(大阪グリーン会館)

平和で安心・安全 希望の社会へ

第78回 大阪メーデー に行こう



昨年のメーデーでの行進風景

5月1日は、第78回大阪メーデーです。メーデーは働くものの祭典です。今年「格差」「貧困」「均等待遇」が大きな社会問題になるなかで、全国各地でメーデー集会や行事が

行われます。夏の参議院選挙を間近にして、平和で、安心して暮らせる社会の実現へ、国政革新のうねりをつくりだす機会にしたいものです。まじめに働いてもまともに暮らせない「ワー

キングプア」と呼ばれる労働者が増加しています。政府が財界の意に沿って派遣・請負やパート、アルバイトなど低賃金で不安定な雇用を増やしてきた結果です。6月の住民税決定では、定

率減税廃止、税率の変更で昨年よりも税額がアップ。府民も労働者もいっそう暮らしが圧迫されてきます。「最低賃金の大幅引き上げを」「憲法改憲反対」「格差社会を是正しよう」「愛国心教

育を押し付けるな」の声をメーデーで広げましょう。大阪地方メーデーは、扇町公園で開催されますが、吹田、堺など大阪府下の各地でも、地域メーデーが開催されます。

第78回 大阪 メーデー デコレーション・ プラカードコンクール &写真コンテストに応募を

「デコレーション・プラカードコンクール」の申し込みは4月25日(水)までに大阪労連にファクス☎06-6353-6420をしてください。当日は、午前8時30分から9時20分の間にコンクール受付テントに。表彰は会場で各部門1位から3位まで表彰状と副賞。

写真コンテストは、メーデー当日の集会、デモ行進などの写真を対象に、①1人5点以内②デジカメ可③手札判以上④カラー、モノクロ可⑤応募締め切り5月18日・申し込みは大阪労連。表彰は1位から3位まで表彰状と副賞がおくられます。発表は『おおさか労連』6月号紙上で。ふるってご応募を。

BOOK オン (本の紹介)

「全国学力テスト、
参加しません。」
(犬山市教育委員会・編)

発行 明石書店
定価 1200円十税



4月24日に文部科学省が行おうとしている「全国学力テスト」(全国学力・学習状況調査)で、犬山市教育委員会は全国で唯一、参加しないことを決めました。「全国学力テスト」は昨年の秋に教育基本法が改悪され、そのもとでの具体的な国のとりくみです。その背景や、狙い、学校と子どもをランクづけにするやりかた、実務を民間会社に丸投げして市場原理にさらすことなど大きな批判が起こっています。しかし、公立学校では犬山市教育委員会しか反対の立場を明らかにする自治体はありません。この本は、こうした結論を導き出した犬山市の教育に対する実践と視点が描かれています。

最初のページから「市場原理は時代とともに移り変わる流行にすぎません。競争と評価では教育はよくなるのではありません。全編、明快、明解です。」